

2020年7月3日

団委員長 各位

(一社)ガールスカウト北海道連盟

連盟長 三田 肇子

## 新型コロナウイルス感染症対策に対応した ガールスカウト活動判断のための考え方について

2020年6月4日、(公社)ガールスカウト日本連盟を含む日本の青少年教育に関わる5団体の共同声明で「新しい生活様式での青少年活動の再開」が発表され、日本連盟から各団に「持続的にガールスカウト活動を推進するために」の発信がありました。(6/8団発信)

北海道内においても既にスカウト活動が再開されている団、自粛が続いている団、再開の方法について模索されている団など、地域や活動拠点により様々あるかと思えます。

日本連盟からの発信にあるとおり、この感染症については、誰も経験したことがなく、すべてが手探りのなかで、状況が刻々と変化してゆく中、状況に柔軟に対応し、少女・女性の可能性を最大限に伸ばすための活動を途切れることなく続けられていることが、私たちの誇りであり、また挑戦でもあります。

この度、各団が今後の取り組みについての参考となるよう、北海道連盟として特に留意いただきたいこと等を以下にお知らせいたします。

なお、北海道、各市町村の方針及び、活動拠点となる場所の運営方針等を常に確認され、地域の状況に的確に対応することをお願いいたします。

### 1. 新型コロナウイルス感染症対策の考え方

新型コロナウイルス感染症は、当分の間、常に再流行のリスクが存在します。このため、引き続き流行への警戒を継続し、手洗いや咳エチケット・マスクの着用、換気の徹底、身体的距離(ソーシャルディスタンス)の確保、密接シーンの回避等に注意しましょう。

マスクの着用については、個々によっては身体的等の理由で着用できない人もいますので、保護者と話し合っ必要配慮をしてください。

また、新型コロナウイルス感染症に関連して、感染者・濃厚接触者、医療従事者等に対する誤解や偏見に基づく差別を行うことのないよう、公的機関の提供する正確な情報入手し、一人ひとりがガールスカウトとして冷静な行動に努めましょう。

### ガールスカウト日本連盟が示す基本的な考え方

1. 正しい情報の把握と適切な対応をお願いします。
2. 会員やその家族の安全確保を第一に考え、ご対応ください。
3. 「そなえよつねに」の精神のもと少女たちをご支援ください。
4. 従来の集会のスタイルに捉われず、創意工夫と柔軟な活動を進めてください。
5. 家にいても行動を起こしていくことができるよう、「STAY HOME バッジ」を制定しました。 バッジ要項(5月改定版)を少女たちと共有し、従来のバッジと含めてチャレンジしていけるようご支援ください。(成人会員、会員外も対象です)

参考 ・・《学校で指導する各自が必要な持ち物》

- ① 清潔なハンカチ・ティッシュ
- ② マスク
- ③ マスクを置く際の清潔な布等

## 2. 基本的な感染症対策の実施

実際に集まったの活動を再開する場合は、保護者の協力を得て、通学している学校での対応を正しく理解し、それに準じる対応をお願いします。

- ① スカウトや成人、その家族に体調不良者がいる場合は参加を控える
- ② 健康チェックを行う
- ③ 集会にあたっては、衛生管理に必要な除菌・消毒用具等を用意する
- ④ 集会参加者の記録を保存する
- ⑤ 集会で疲れが出ないように休息に配慮し、帰宅後の休養について指導をおこなう

参考

- ・・ 《文部科学省 学校における新型コロナウイルス感染症に関する  
衛生管理マニュアル ～「学校の新しい生活様式」～ (2020.6.16 Ver.2)》

[https://www.mext.go.jp/content/20200616-mxt\\_kouhou01-000007426\\_01.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20200616-mxt_kouhou01-000007426_01.pdf)

- ・・ 《北海道教育委員会が6/23に発出した「保護者の皆様へ」》

[www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ktk/corona020623hogosyanominasama2.pdf](http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ktk/corona020623hogosyanominasama2.pdf)

## 3. 集団感染リスクへの対応

- ① 集会時には、清潔を保つために必要な洗浄・消毒等のためのものを用意し、使用を共有する器具類の消毒をこまめに行うこと。手指消毒の励行をはかること
- ② 「3つの密」のすべてをさけること  
換気の徹底、室内では密集を避ける広さ、人数に配慮する

- ③ 「5 分間の会話は、1 回の咳と同じ」と言われています。集会内容については飛沫感染・接触感染に注意を払い、会話をするときはマスク着用の指導をおこなう
- ④ 時節柄、熱中症の対策も併せてお願いします。ただし、飲料は各自が携行し、自分だけが使用すること
- ⑤ 送り迎え等の折に、保護者同士が密接にならないよう配慮し、連絡事項などは SNS 等を活用するなど工夫をする
- ⑥ 抵抗力を高める。保護者の協力を得てスカウト自身が体調管理に留意すること

#### 4. 団で感染者等が発生した場合の対処について

スカウトや成人会員、その家族に感染が判明した場合には、速やかに北海道連盟に連絡を入れてください。(団 → 北海道連盟 → 日本連盟)

本日同送する「北海道連盟 緊急時の連絡について」を団の運営者・指導者間で共有してください。

#### 5. 具体的な活動場面ごとの感染症予防対策等について

文部科学省「新しい生活様式」を踏まえた学校行事行動基準を参照し、以下のようにまとめましたので、地域の状況等を勘案して団活動の判断基準の参考としてください。

地域の感染レベル	身体的距離の確保 (ソーシャルディスタンス)	感染リスクが高い 活動内容	対応
レベル3 特定警戒 累計患者数、経路不明者数の割合、直近 1 週間の感染者数増加の地域	できるだけ 2m 程度 (最低 1m)	行わない	・集会や会議等、対面の活動は行わず、web や文書での対応 北海道連盟のオンラインシステム Zoom の積極的活用等
レベル2 感染拡大注意 新規報告者がレベル3の半分程度。 感染不明者が過去に一定程度存在し、注意を要する地域	できるだけ 2m 程度 (最低 1m)	リスクの低い活動から徐々に実施	・積極的な web 活用を行い、対面活動を行う場合は、活動状況の確認を徹底する ・3密を避ける新しい生活様式に沿った活動を工夫する
レベル1 感染観察 感染者数がレベル2の水準に達しない	1m を目安に、集会場所内で最大限の間隔をとること	十分な感染防止対策を行った上で実施  (注意)会場は収容人数の 50%未満であること	・積極的な web 活用を行い、対面活動を行う場合は、活動状況の確認を徹底する ・3密を避ける新しい生活様式に沿った活動を工夫する

団委員会などの会議、団行事、スカウトの集会や打ち合わせ等についても、北海道連盟の Zoom システムを積極的に活用してください。

参考 ..

《文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』》で、感染症対策を講じてもお感染のリスクが高い活動として挙げたものを参照し、活動に共通するものを次に記載しますので、参考にしてください。

#### リスクが特に高い活動

- ★ 子どもが近距離で一斉に大きな声で話す活動
- ★ 室内で子ども同士が近距離で行う合唱や気楽器演奏
- ★ 子ども同士が近距離で活動する調理実習
- ★ 近距離で組み合ったり接触したりする運動

#### リスクが高い活動

- ☆ 子どもが長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等
- ☆ 子ども同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動
- ☆ 子ども同士が近距離で活動する実験や観察

#### レベル3の地域

上記の活動は、「感染症対策を講じても感染のリスクが高い」ことから、行わないようにし、北海道連盟のオンラインシステム Zoom の利用等 web の活用も検討してください。

#### レベル2の地域

上記の活動は、可能な限り感染対策を行ったうえで、リスクの低い活動から徐々に実施することを検討してください。「密接」「密集」「近距離での活動」「向かい合っでの発声」について、回避するために必要な可能な対策を講じてください。

なお、★で示した活動を行う場合は、特にリスクが高いことから、実施について、また実施方法について、団で慎重に検討をしてください。

レベル1の地域については、レベル2に準拠して進めてください。

以上、国が示した「新しい生活様式」に基づく新型コロナウイルス感染症対策に対応したガールスカウト活動判断の参考となるための考え方について述べましたが、刻々変化する地域の状況と照らして「持続的にガールスカウト活動を推進するために」皆様のご協力をよろしく願います。

そして、新型コロナウイルスがゼロにはならなくても、この状況はいつかきっと終息する時が来ます。その時を迎えるまで 100 年の歴史を誇りに、私たちは日々模索しながらガールスカウト活動を進めて参りましょう。

以上